蝶

フォト劇場（40）

写真が生むものがたり

波及するバタフライ効果で変はりゆく惑星地球の
未来が見えぬ　　菅　洋

特に二十世紀以降、記録された映像は、限定地域でひきおこされた事件が、次々と波及するバタフライ効果で地球が翻弄される様子が鮮明だ。二十一世紀になってもこの傾向は変らぬ。この惑星の未来はどうなるのだろう。

わが母の魂（たま）にあらぬか温き日を小手毬にきて憩ふ
蝶あり　　河合利子

三十二歳で寡婦となった母は、兄や私が故郷を離れてから一人暮らしであった。母は晩年「お前と一緒に暮したい」と言ったことがあったが、その願いには応えられなかった。悲しかったことを今も時折思い出す。

写真・木畑紀子

蝶を追ふひとたちがみな蝶になり帰りそびれた春のくさはら

杉本なお

蝶の写真を撮りたくて蝶を追いかけているうちに、蝶は立入禁止の柵の向こうへ行ってしまった。山の斜面に設けられた柵の向こうには春の草はら。この柵を越えてしまったら、もう帰って来られないような気がした。

光りかに朝日を返す斑蝶その右の翅惜しくまた愛(は)し

田北加世

私が通っていた小学校の西側は馬場になっていて村人もよく通った。松並木が涼しく、腰を下ろしていると、足元に毛虫が這って来た。私はそっと「君、黒いね。黒蝶になるね」と言った。おーい、と先生が呼んでいた。